

軽井沢土曜懇話会

第3回 7月26日(土) 15:00~

インターネット中継 (<http://www.nii.ac.jp/hrd/HTML/Karuizawa/index.html>)

源氏物語の色

自然界の植物より色素を汲み出す植物染を専らとする立場から、『源氏物語』を読むと、王朝人の色彩感が、眼に浮かぶようになってきます。

「若紫」「玉鬘」などのいくつかの帖をみながら、そこにあらわされた美しい季の彩りを、実際に再現した衣裳などを見ながらお話をしたいと思います。

講師 吉岡幸雄氏

染織家

略歴:

- 1946年4月2日、京都市に生まれる。生家は江戸時代から続く染屋である。
- 1971年 早稲田大学第一文学部文芸学科を卒業
- 1973年 美術工芸図書出版「紫紅社」を設立。
- 1988年 「染司よしおか」五代目当主を嗣ぎ、染師福田伝士と二人三脚で植物染による日本の伝統色の再現に取り組む。
- 1992年~1993年 薬師寺「玄奘三蔵会大祭」での伎楽装束四十五領を制作。奈良東大寺の伎楽装束四十領を制作。天平の時代の色彩をすべて植物染料によって再現して話題となる。
- 2001年 ドイツバイエルン州ミュンヘン市共立手工芸ギャラリーにて「染司よしおか展」開催。法隆寺伝来「四騎獅子狩文錦」を吉田頼修氏らの協力を得て、空引機を制作し、往時の色と文様を復元。NHK教育テレビ人間講座「日本人の創った色」を12月~2002年(平成14年)1月、8回にわたって担当。
- 2002年 10月、東大寺大仏殿完成1250年慶讃法要にあたり、管長の紫の衣、糞掃衣、「鹿草木夾纈屏風」などを古法にのっとり復元。

著書:

- 「色の歴史手帖」「染と織の歴史手帖」、エッセイスト青木玉氏との対談「きもの暮らし」PHP研究所、
- 「京都の意匠」建築資料研究社、「京都町家 色と光と風のデザイン」講談社、「自然の色を染める」、
- 「日本の色辞典」紫紅社、「京のことは」(榎野修氏と共著)幻冬舎、「日本の色を染める」岩波書店、
- 「源氏物語 紙の宴」(町田誠之氏、秋山光和氏、秋山虔氏と共著)書肆フローラ